

田沢地域運営体「荷葉」～事業第1号

むらの喫茶店「たざわ」オープン

7月6日、田沢地区の旧田沢コミュニティーホーム内にむらの喫茶店「たざわ」がオープンしました。「地域の皆さんが集まれる場所を」と、田沢地域運営体「荷葉」が約1カ月をかけ同ホーム内の図書室を客室に改装、調理室も整え、この日を迎えました。

オープンに先立ち浦山会長が「取り組んで1カ月、地域の皆さんと行政が力を合わせて実現できた。地域に新しい風を吹き込むことができれば」と挨拶。続いて石山副市長が「認定第一号の地域運営体の第1号の事業。地域の皆さんが考え、動いた事業。皆さんの取り組みに大いに期待します」と挨拶しました。テープカット後、集まった多くの方たちがさっそく店内に入り、オープンを祝う賑やかな声が響いていました。

営業は、当面の間火曜日の10時から14時頃までとし、メニューはコーヒー、紅茶などを150円～350円で提供。今後、利用状況を見ながら営業日、時間を検討していくことにしています。



仙北市観光産業拠点特別区観光戦略会議が公開で開催されました

6月29日、市役所田沢湖庁舎で仙北市観光産業拠点特別区観光戦略会議に公募のあった委員と市長が指名した委員の15名に市長から委嘱状が伝達され、「角館」「田沢湖畔」「乳頭・高原・玉川・水沢」の各特別区の分科会委員を決定しました。

今後、委員の方々に地域の観光振興策を協議・検討し、平成23年度事業に盛り込む施策を提言していただきます。



仙北市観光産業拠点特別区観光戦略会議委員（敬称略）

職名	氏名	分科会
副座長	浜中 明	角館
分科会委員長	田村 雄幸	角館
	佐藤 励	角館
	安藤 大輔	角館
	藤原 里香	角館
分科会委員長	草薨 稔	田沢湖畔
	渡辺 雅宏	田沢湖畔
	畠山 忍	田沢湖畔
	佐々木 達哉	田沢湖畔
	関口 久美子	田沢湖畔
座長	佐藤 貢一郎	乳頭・高原・玉川・水沢
分科会委員長	二宮 誠	乳頭・高原・玉川・水沢
	伊藤 悟	乳頭・高原・玉川・水沢
	草薨 俊一	乳頭・高原・玉川・水沢
	高橋 ユキ子	乳頭・高原・玉川・水沢

花いっぱい運動

にしきのフラワーロード105
一斉植栽

7月4日、「にしきのフラワーロード105一斉植栽」が行われ、地域住民、地域団体、西明寺中学校を含め約300人が参加しました。

参加された皆さんは手慣れた様子で植栽を行い、西木町堂村から西荒井までの国道両側の花壇、約4.6kmにはマリーゴールドの苗があつという間に植えられました。

植えられたマリーゴールドは、7月の終わり頃に咲き始め、9月の中旬頃まで花を楽しむことができます。



高校生の採用枠拡大を地元商工団体に要請

6月24日、仙北地域雇用促進連絡協議会（大仙市、仙北市、美郷町、県仙北地域振興局、ハローワーク大曲・角館）は来春の高校卒業予定者の採用枠拡大と求人票の早期提出を求める要請書を大曲商工会議所など4商工団体に提出しました。



要請は6月21日から来春卒業予定者向けの求人受付が始まった事を受け、高校生の県内就職を促進しようと昨年に引き続き実施したものです。

地元の高校生を代表して、大曲農業高校3年生田口歩さんが「生まれ育ったこの地域で就職したい。私たちにチャンスを与えてください」とあいさつ。仙北市からは、石山副市長が出席し、「活力ある地域社会をつくるには若者の県内定着が必要、出来るだけ多くの子ども達が就職出来るようお願いしたい」と述べ、仙北市商工会千葉会長へ要請書を手渡しました。

ハローワーク角館によると管内の4月の有効求人倍率は、0.26倍で、前年同期に比べ0.09ポイント改善していますが、依然と厳しい雇用情勢が続いています。

仙北市では、今後もハローワークと協力しながら市内企業訪問を実施し求人票の提出を呼びかけて行く予定です。

「仙北市子ども読書活動推進事業」

第1回研修会を開催

6月30日、仙北市子ども読書活動推進事業の一環として小畑信夫氏（図書館・メディア研究所代表）をお招きし「公立図書館と学校図書館の連携を考える」というテーマで講演が行なわれました。



小畑氏は学校図書館の図書館司書を経て、長く司書教育・育成に携わってきた全国のご活躍されている図書館のエキスパートです。

講演には仙北市内の小中学校の教職員と教育委員会関係者、公立図書館（室）職員等が参加しました。

「学校図書館は誰のためにあるか」や「子どもたちが『生きる力』を学んでいくためにはどのような事が必要か」など学校図書館の在り方や公立図書館との連携の重要性を質問形式や実例等を交えながら約1時間半にわたり充実したお話をしてくれました。



高校生市内事業所を訪問

6月30日、仙北市・仙北市商工会の共催で、高校3年生を対象とした仙北市事業所視察会が開催され、参加校7校から55人の高校生が参加しました。



当日は、視察会に先立ち、角館交流センターで開会行事が行われ、ハローワーク角館・茂木所長からの就活の現状や企業が求めている人材などについてアドバイスと、「働くことの意義」と題して秋田マナウス経営研究所・齋藤所長より講演をいただき、出発式としました。

今年は、4月に設立した仙北市企業等連絡協議会のご協力もあり、建設業・旅館業・介護施設など幅広い分野を視察することができました。

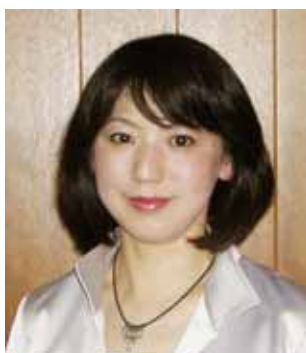
視察会を終えた生徒達は、各企業の方々からのお話を聞き「希望する職種の範囲が広がった」「就職活動に向けての意識が高まった」などと思いを語ってくれました。

高校生の就職活動は非常に厳しい現状にありますが、自分が目指すものを再確認し就職活動に頑張っていたきたいと思います。

仙北市福祉事務所
社会福祉課からのお知らせ

主任児童委員の変更

角館町（角館地区）担当の主任児童委員が前委員八木沢涼子さんから橋本智美さんに代わり、委嘱状の伝達が行われました。今後、同地区を担当しますのでよろしくお願い致します。



平成22年度
秋田県生涯学習奨励員
協議会長表彰

5月13日、秋田県生涯学習センターで門脇トキヨさん（西木町）が秋田県生涯学習奨励員協議会長表彰を受けました。

これは生涯学習奨励員として通算7年以上在任し、生涯学習の推進に尽力し著しく功績のあった方が対象となるものです。

門脇さんは通算13年以上生涯学習奨励員としてご活躍され、特に郷土芸能の分野で現在もご活躍されています。



大仙・仙北広域圏日本語講座角館会場開講式

6月26日、角館交流センターで日本語講座角館会場（仙北地域）の開講式が行われました。この講座は、国際結婚等により大仙・仙北地域に在住している外国人の方および研修生を対象にし、日本語指導ボランティアの先生にご指導いただいています。開講式では、ご夫婦で参加、子どもと一緒に参加された方など和気あいあいとした雰囲気の中行われました。

講師の先生からは、「日本語を学ぶ事が一番条件だったが、それをクリアしこれからは就職先の事も視野に入れながら講座を行いたい」「外国の方へ地域の観光案内など、ガイドとして活躍できれば・・・」との話がありました。



開講式終了後、情報交換会を行い受講生同士の現状などを話しあい、終日和やかな雰囲気でも過ごしました。

角館会場の講師の先生は次の5名です。（敬称略）

- ・西宮 陽助 ・梁田 育郎 ・鈴木 通明 ・田村 雄幸 ・加藤 千恵子

日本語講座（角館会場）は毎月土曜日、午前10時から12時角館交流センターを会場に行っています。

■問合せ 仙北市教育委員会 生涯学習課 TEL 43-3383

仙北市老人クラブ連合会

健康づくり親睦交流グラウンドゴルフ大会

6月25日、西木町「桜木内川河川公園」を会場に「仙北市労連第5回健康づくり親睦交流グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

中生保内クラブ・高田重一選手の力強い宣誓で大会がスタート。192人が競い合いました。



当日は天気もよく、参加者は気持ちよくプレーを楽しみました。結果は次のとおりです。（敬称略）

	順位	氏名	クラブ名	スコア
男子	優勝	草薨 洋	白岩長生クラブ	76
	準優勝	相馬 賢一	蘭田長生クラブ	80
	3位	星宮 忠星	さくらクラブ	80
	4位	川村 昭夫	東雲クラブ	80
	5位	武蔵 達郎	門屋老人クラブ	81
	6位	藤田 利孝	楽悠クラブ	83
女子	優勝	大沢 ハナエ	楽寿会老人クラブ	87
	準優勝	田村 輝	岩瀬クラブ	87
	3位	伊藤 信子	広久内寿会	88
	4位	立木 ユキ子	岩瀬クラブ	89
	5位	佐藤 政子	蘭田長生クラブ	90
	6位	鈴木 チヤ	さくらクラブ	91

ワールドカップ公式球レプリカ

市内小学校に寄贈

6月30日、角館郵便局ではワールドカップ公式球（ジャブラニ）のレプリカボールを角館小学校校へ寄贈しました。贈呈式は校長室にて行われ、角館郵便局の佐々木局長から、角館小学校サッカー部のみなさんに手渡されました。

ゆうちょ銀行、郵便局が、今年開催されたワールドカップの応援企画の一つとして、店頭展览展示していたもの。展示期間終了に伴い、地域の子どもたちに公式球を間近に見て、サッカーに親しんでもらいたいと企画されました。今回の角館小学校の他にも、市内各小学校へ、最寄りの郵便局より寄贈されています。



佐々木局長からボールを受け取るキャプテン佐々木将人君と副キャプテンの蝦名直仁君と皆川楓君

JA秋田おばこ農業協同組合から

交通安全指導車が寄贈されました

秋田おばこ農業協同組合（藤村正喜組合長）から交通安全指導車が仙北市に寄贈され、7月2日、寄贈式が田沢湖庁舎前で行われました。



秋田おばこ農業協同組合が進める地域貢献のひとつとして「交通事故防止や、飲酒運転の撲滅など交通安全意識を高め、安心安全な地域づくり」に活用して欲しいと送られました。



西木庁舎に配車され、地域の巡回等、安全確保に活用されています。

「交通事故のない地域作りのために」藤村正喜組合長からキーが市長へ手渡されました

安全功労者内閣総理大臣表彰

生保内幼稚園が受賞

生保内幼稚園では、毎月1回の避難訓練、交通安全教室、保護者や職員とともに子どもの目でみた危険箇所マップ作成や地域のボランティアの方々による園児の見守り活動など、家庭や地域と連携し安全活動を続けてきました。その活動が評価され、安全功労者に贈られる安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞し、7月1日、総理大臣官邸で表彰状を授与されました。

伊藤州子園長

「幼稚園は子どもたちが遊びながら育つところ。子どもたちが幼稚園の生活の中で、いろいろな直接体験をし、それをおして自分たちで危ない所に気が付いたり、身を守る力がついたりすることが大事。交通安全教室やパトロールなど地域の皆さんから協力をいただいたおかげだと思う」

門脇市長

「子どもの目で見た危険箇所を記したマップを作成するなど、長年継続して活動してきた結果だと思う。また、地域の方々の応援があって、この賞をいただいた。これからも子どもたちを見守る目を地域の方々をお願いしたい」



おめでとうございます

白寿のお祝い

6月28日に高田ミヤノさんが、7月5日に菅原マサエさんが99歳の白寿を迎えられ、市からお祝いと花束が贈呈されました。



高田さん



菅原さん